リーダーが フォロワー（消極的な指示待ち人間）を再生産する。リーダー不要論を背景に登場した「インターミディエイター」。さまざまな次元で異なる領域や言語を媒介し、開かれた協働の場から、新たな需要、関係変化、先端表現を創りだす存在です。九段会館テラスにて、第８回フォーラムを開催します。

2024. 11. 10 [日]

Being - Doing - Becoming
（ある-する-なる —— 生の三様態）

Intermediator Forum 2024

◉ 会場：九段会館テラス + リモート環境　◉ 主催：設樂剛事務所　◉ 共催：㈱ダンクソフト　● 申込み：intermediator.jp

Welcome to Intermediator Forum 2024

対話のさざなみ　*Collateral Dialogue*

◉命題「教師と上司は、対話ができない」。これは真か偽か。今日の時点においては、かなりの程度、真であると考えています。すると、あらゆる学校は対話の場ではなく、あらゆる企業、あらゆる非営利組織、あらゆる行政機関は対話の場になっていないということであり、いたるところで“若い人たち”の可能性が閉ざされていることを意味します。これで未来を創ることができるのでしょうか。

◉くわえて父親（ファーザー）という存在には、教師と上司の面があり、ことによると彼らにとって対話をすることは困難さを伴うようです。現代は、職場や地域、世界中で“偽の父”が現れており（トランプなど）、対話の実現はさらに困難を極めるでしょう。つまり教師、上司、父親（ファーザー）は、ときに「反・創造のシステム」として立ちはだかる可能性があるということです。

◉だからこそ、この地球上に対話する勢力がいるのであり、対話の場をひらくことは、文明にとっても、地域や家庭にとっても肝要さを増しています。対話がなければ、共通理解も協働作業もなりたたず、互いに変化する Co-learning もなければ、異質なものの相互作用から生まれる Innovations も起きることはありません。要するに、対話とは一過性の Buzz Word ではない。職場や社会をはじめ、人類の課題です。

◉ところが、対話の重要性に賛同するひとたちでさえ、実際には対話になっていかない。なぜか。それは人間が白紙の存在ではなく、歴史的、政治的、文化的存在だからです。場における年齢、職階、役割、ジェンダー、学閥、イデオロギー、文化資本の差異などによって、ほうっておくと、相対的に強い立場にある者や、たくみに弱者を装う者が、“自分の云いたいことを言う”状態になってしまう。つまり、Dialogue のつもりが、一方的な Monologue になっていく。

◉そこで対話の成立に向け、寛容さ、学習、傾聴、心的安全性、メタ認知、システム思考、エポケー（断定の中止）など、いろいろの必要性が説かれている。視点はどうあれ、対話とは、ひと言では片づかない事態であることははっきりしているようだ。

◉私自身はどうみたいかというと、***Intermediator*** によって事態を収拾し、展開したいとおもっている。つまり、対話へと誘う媒介者を置いて、三者間でのやりとりを重視する（Trialogue（トライアローグ））。というのも、私の観方からすると、そもそも世界は三項構造でできていくものだからである。

◉一方ではいわゆる二項対立が激化する時代になり、他方では専門分化と分業がすすんだことで、境界をこえた対話の重要性が、多分野で認識されるようになってきました。二つ以上の文化をまたぎ、「あいだ」から新たな均衡と変化をつくる Intermediators が何をおこない、何をもたらしているのか。それらは世界三項構造の要石（キイ・ストーン）であり、地球文明と身のまわりに、“対話のさざなみ”を拡げる存在です。

第８回目のフォーラムへ、ようこそ。***Intermediator*** になるということは、たった一人で一大勢力たりうるということです。

設樂　剛（Go SHIDARA, Ph.D.）
プロフィール

Program　**2024. 11. 10**

13:15　開場

13:25　オープニング

13:30 - 14:10　VisionTalk

対話から対話へ

▎設樂　剛　（***Intermediator Forum*** Initiator ）

14:20 - 15:55　Crosstalk with Intermediators

なぜ、インターミディエイターが重要なのか

―３つの領域との対話 ―

▎美しい経営へ　星野 晃一郎 （株式会社ダンクソフト代表取締役）

50 周年をめざす革新的ロングライフ・カンパニイ

▎美しい社会へ　鈴木 悠平 （作家）

排除の原理から漸進的包摂へ：Prison Artsを通した越境的対話

▎美しい島々へ　平田 直大 （一般社団法人しまのわ代表）

沖縄を拠点とした集会と地域とひとづくり

＊「美しい」とは、活動の隅々に対話が息づいていること

▎Crosstalk ：登壇者および全体対話 ―会場・リモートを交えて―

16:00 - 16:55　Group Study：

「あいだの時代」への準提言

▎theme “若い人たち”を、どう生かすか

▎group dialogue　ここまでの要点を踏まえて検討・作成

▎quasi-proposal　グループごとの発表

▎polyphony　まとめ（多声的に）

＊“若い人たち”とは、いくつになっても学び続けることができて、次を創ろうとする人たちのこと

17:00 - 18:00　Symposion（対話と懇親の場）

Intermediator Forum 2024

◉ 会場：九段会館テラス＋リモート環境　◉ 主催：設樂剛事務所　◉ 共催：㈱ダンクソフト　● 申込み：intermediator.jp

© SHIDARA & ARCHIPELAGOs